

## 第 61 期物理学史資料委員会活動報告

委員長：植松英穂

副委員長：永平幸雄

理事：二宮正夫

委員：岡本拓司、勝木渥、小長谷大介、近桂一郎、佐藤修二、篠原猛、廣政直彦、吉田晴代

### 1. 物理学史資料委員会議の開催

下記の通り、3回の委員会議を開催した。

第 65 回物理学史資料委員会

2005 年 10 月 15 日（土）13:30-16:30（於日本物理学会会議室）

第 66 回物理学史資料委員会

2006 年 3 月 14 日（火）13:30-16:30（於日本物理学会会議室）

第 67 回物理学史資料委員会

2006 年 7 月 28 日（金）13:00-16:00（於日本物理学会会議室）

### 2. 物理学史資料に関する情報

#### 2-1 京都大学総合博物館

2-1-1 三高時代の図学教室の実験機器やカタログが保存されているが、未整理。

2-1-2 京大医学部由来の医学用物理実験機器があり、写真を撮ってあるが未整理。

2-1-3 京都大学理学部物理学教室の分光器関係の実験機器があり、整理中。

2-1-4 京都大学工学部で保管されていたサイクロトロンを作ったときの銅板を保管。

2-2 神戸大学：神戸大学教養の前身、旧制姫路高校由来の 100 点程の物理実験機器があり、整理中。

2-3 早稲田大学：学生実験用機器で古い物は一点だけ残し、動態保存している。

2-4 『科学研究用機械器具集録』（昭和 17・18 年）は、当時の研究用実験機器の所在調査報告書である。上下巻 1160 頁で、1 頁あたり 5~10 件の機器が掲載されている（全体で 14000 点ぐらい）。データベース化している。

#### 2-5 坂田資料室

2-5-1 坂田資料は整理されている。

2-5-2 有山資料は未登録。

2-6 土浦一高（旧制一中）：古い実験機器が約 100 点ある。

#### 2-7 菊池正士資料

仁科と重なっている年代を調査した。阪大物理教室の時は事務関係書類のみ保管。『菊池正士業績と追想』で使った資料はほとんど残っていない。KEK 関係は、核研開所式映像で中村清二や八木秀二の映像と肉声が記録されている。この映像は科学博物館で公開する。

2-8 東大工学部電気工学科：実験機器リストの備品台帳がある。（建物移転のために調査した。）

### 3. 『物理学史資料委員会会報』の発行について

『会報 No.3』を 2005 年 12 月に発行し、2006 年の愛媛大学での年次大会で配布すると共に、

関係者および各大学の物理学教室へ3部ずつ送付した。

#### 4．資料委員会所蔵資料の利用状況

『物理学会誌』2006年3月号の「歴史の径」欄に掲載された小澤健志の小論「Sommerfeldの来日と日本の物理学」で、物理学会の保有する資料が使われた。

#### 5．資料委員会所蔵の物理学史資料の利用規程について

現状に合うように改訂案を作製した。

#### 6．成田倉庫保管資料のデータベース化について

約1,750点ほどの保管資料のデータベース化が概ね完成した。

#### 7．今後の活動

7-1 『会報 No.3』でも会員に呼びかけたが、新たな資料の発掘および調査を行う。また『会報 No.3』の補遺を集積する。

7-2 資料委員会のホームページを親しみやすく、利用価値を高めるような内容にして、物理学史資料の保存の重要性をアピールしていく。

7-2-1 東京大学創設(1877年)から始まった日本の近代的な物理学の教育・研究体制において育成された物理学者のデータベースを構築し、物理学会のホームページで公開する

7-2-2 物理学史資料や画像などを収録したデジタル・アーカイブを作成しホームページで公開する。